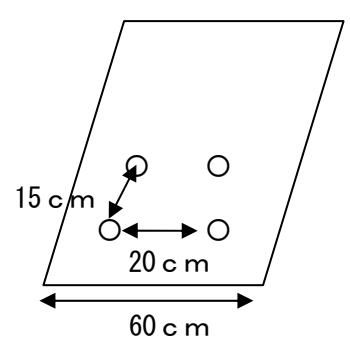



～9月の野菜管理～

種まき	栽培のポイント
野沢菜 チンゲンサイ ホウレンソウ	<p>ニンニクの植え付け</p> <p>ニンニクは、病害虫が少なく省力的で栽培しやすいですが、冬季の凍み上がりや春先の乾燥に弱いので、畑の選定等には注意しましょう。</p> <p>種球の準備 自家生産のものも使用できますが、自家生産の場合はできるだけ形状のよい大きいものを使いましょう。ただし、種球は、無病のものが良いため、自家生産したものは病害に侵されている場合が多いので、市販の種用のものを利用すると安心です。</p>
<p>定植（植付け）</p> レタス ハクサイ チンゲンサイ ニンニク 促成イチゴ	<p>施肥 10㎡当たり、堆肥20kg、苦土石灰150～200g、窒素220～250g、リン酸250～300g、カリ150～180gを目安に植え付けましょう。</p> <p>植え付け 9月中旬～下旬、遅くとも10月上旬までには植え付けます。これ以上遅くなると根が十分に発達しないまま冬になってしまい、寒さや乾燥による枯死株が増えますので注意しましょう。 冬に向かう時期はどんどん温度が下がっていくので、植え付けが1日違っただけでも生育は越冬前には大きく違ってきます。</p> <p style="text-align: center;">条間20cm 株間15cm うえ幅60cm</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="341 898 1053 2072"> <p>ネギの土寄せ</p> <p>気温が下がると、ネギは肥大が旺盛になってきます。早いものは9月下旬から収穫できる太さになってきますので、食用にする白い部分を多くするように、土寄せを行いましょう。 植え付けてから、何回かに分けて土寄せ及び、追肥をしてきましたが、収穫1ヶ月前の今回が最終の土寄せとなります。肥料は十分入っているので追肥はしません。 首の付け根まで、しっかり土寄せをしましょう。</p> <p>果菜類の秋期管理</p> <p>9月に入り夏場の高温期を過ぎると、生育期間の長い果菜類は、株が疲れ発病しやすくなります。また、秋雨期は湿度も高くなるので、収穫を終えた部分の葉かきや枝整理を中心に行い、病気が増えにくい風が通るような環境を心がけましょう。 アブラムシの発生が多くなる9月～10月は、アブラムシが媒介するウイルス病にも注意が必要です。収穫等の作業で使用したハサミなどに感染した株の汁液が次の株への感染源となるので、感染株は見つけたら、抜き取って処分しましょう。</p> </div> <div data-bbox="1053 898 1495 2072">   </div> </div>

栽培のポイント

水稻収穫適期予測（刈り始め予測日）

出穂後の登熟積算温度から成熟期が推定できます。

成熟期は、出穂期からの平均気温の積算温度で、コシヒカリは1000℃、

あきたこまちは950℃に到達した日を成熟期としています。

推定された成熟期の5日前を「刈り始め予測日」としています

【使用上の注意】

- ・出穂後の平均気温積算温度による成熟期の予測は目安であり、日照時間、降雨など他の条件の影響を受けます。個々のほ場の収穫期判定は帯緑色籾歩合10%を基準として刈り始めてください。

8月31日現在の「コシヒカリ」の刈り始め予測日（成熟期の5日前）

		出穂期（全穂数（有効茎数）の50%の穂がのぞいた日）				
		8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
標高	500m	9月8日	9月13日	9月20日	9月27日	10月5日
	600m	9月9日	9月14日	9月21日	9月29日	10月7日
	700m	9月10日	9月15日	9月23日	10月1日	10月9日

8月31日現在の「あきたこまち」の刈り始め予測日（成熟期の5日前）

		出穂期（全穂数（有効茎数）の50%の穂がのぞいた日）				
		7月25日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日
標高	700m	8月30日	9月8日	9月13日	9月20日	9月27日
	800m	8月31日	9月9日	9月14日	9月21日	9月29日
	900m	9月1日	9月10日	9月15日	9月23日	10月1日

・今は8月中旬かな

高温で推移し、同割米が発生しやすい状況になっているので、上記予測日から成熟期（予測日の5日後）まで収穫するようにしましょう。

- ・刈り遅れは「胴割れ米」の発生を助長します。コンバインや乾燥施設の整備は早めに行い、計画的な収穫、業による品質向上を心がけましょう。

【帯緑色籾歩合による収穫期の判定】

- ・「帯緑色籾歩合」とは緑色の籾が1穂内に占める割合のことです。・1穂内の緑の籾が「10%」になったら収穫開始の目安です！上記の「積算気温による収穫予測」と「帯緑色籾歩合」を参考に適期収穫を行いましょう。



あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062
FAX：0268-41-1063



技術事項作成協

上小産米改良普及センター 日台
電話番号：0268-25-7156(直通) FAX：0268-23-2161